

ウェブ会議を使ってみよう！

4月16日の全国的な緊急事態宣言を受け、新型コロナウイルス感染拡大リスクの軽減を目的に一堂に会さずネットを使って自宅や会社からでも参加できる「ウェブ会議（遠隔会議）」が急速に広がってきました。

本町においては、平成30年度より情報発信や交流拠点として「山都町東京事務所（所在地：東京都港区）」を開設しておりますが、交通費と移動時間の削減や意思決定の迅速化のため、事務所とのウェブ会議を先駆けて行っています。

また、新型コロナウイルスの影響を受けて、現在は庁議（※）や本庁と各支所間の小会議においてもウェブ会議を行っており、今後も利用拡大を図っていきます。

そこで今回は、テレワークやリモートワークで注目を集めたウェブ会議についてご説明します。



【庁議の様子】

※庁議…行政全般に関する各課等相互の連絡調整を図ることを目的とした会議です。

1. ウェブ会議とは？

離れた場所にいる相手とインターネットを介して音声や動画を共有し、リアルタイムで会議ができるツールです。また、データやアプリケーションの共有、チャットも可能なウェブ会議ツールもあります。

2. ウェブ会議のメリットって何？

- ネット環境さえあれば場所を問わない。
- 災害時や感染症蔓延時も業務を継続できる。
- 通勤や移動時間を有効活用し、大幅なコスト削減につながる。
- 相手の表情を見ながら会話が可能
- 意思決定の迅速化

3. 必要な機材・環境は？

- 1 インターネット環境
- 2 パソコンまたはタブレット端末
- 3 カメラ（カメラ内蔵端末の場合は不要）
- 4 マイクスピーカー（1対1の会議や音質にこだわらない場合は不要）

4. ウェブ会議ツールは有料？

ZoomやSkypeなど様々な無料のウェブ会議ツールがあります。コストをできるだけかけずにウェブ会議ツールを利用したい方は無料版の導入も検討しましょう。

但し、ツールによっては、利用人数制限やセキュリティ面のリスクなどのデメリットがありますので、様々なウェブ会議ツールを比較して利用することをお勧めします。



山都町はSDGs「持続可能な開発目標」に取り組めます！

○企画政策課とSDGs

地域づくり活動への参加割合 **70%** を目指します。（現在 59.1%）

- ・自治振興区を中心とした住民自治活動の一層の充実を図るため、情報発信や相談体制の充実を図り活動を支援します。
- ・サポートセンター事業の一層の充実を図り、地域づくり・まちづくり団体が行う地域の独自性を活かした自主的な活動や団体間の連携の場づくりを支援します。

住民一人ひとりができること・・・

★自治振興区の行事や地域づくりイベント等へ参加してみましょう。



光回線の普及率 **45%** を目指します。（現在 約 34%）

- ・子どもから高齢者まで、誰もがスマートフォンやタブレット端末等のICT機器を使いこなせるよう、各家庭におけるICT教育環境の充実や町民向けのICT講習会等を開催します。

住民一人ひとりができること・・・

★遠方の親せきとテレビ電話をしてみましょう。

★防災アプリ（ライフビジョン）を使ってみましょう。
（広報山都6月号参照）



「住みやすい」と感じる人の割合 **80%** を目指します。（現在 73%）

- ・現在ある交通資源を活かし、地域の特性及び住民のニーズに合った公共交通体系を構築していきます。
- ・小型モビリティ、AIバス・タクシー、新型輸送サービス（自動運転等）などの最新技術の導入の可能性を検討します。

住民一人ひとりができること・・・

★バスやタクシーを上手に組み合わせて出かけてみましょう。



山都町の景観を自慢できる人の割合 **80%** を目指します。（現在 56.6%）

- ・地域の歴史、文化、自然環境と調和した景観づくりを推進します。

住民一人ひとりができること・・・

★花いっぱい運動や清掃活動に参加し、身近なところから景観づくりに取り組んでみましょう。



問合せ先 企画政策課 ☎ 72-1214

※令和2年度から広報やまとへ関連するSDGsのアイコンを表示しています。
SDGsの内容や各ゴールの説明について、町ホームページもご覧ください。

山都町×SDGs

検索

